学校番号	３２５

令和８年度　学　地域科

教科	学　地域	科目	地域と生活Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	特になし						
副教材等	特になし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地域の様々な施設との交流や地域企業のボランティア活動との連携、農協との連携による地域おこしなどに取り組むことで、それぞれの仕事や課題について、理解、認識を深めさせる。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地域の各施設の取組みや企業のボランティア活動、農協の取組み等について正しい知識を持つ。

【思考力、判断力、表現力等】
対象となる方々の状況を正しく認識し、それぞれに応じて求められることを考え、工夫し、表現できる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
各施設との連携を深めていくことで、それぞれの仕事や課題について主体的に考えていく意欲を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・各施設や企業、地域おこしの取組みについて、正しく理解することができる。 ・連携した活動について、求められていることを適切に行うことができる。 ・連携の準備段階において、判別の協議などの場面で、適切な発言等ができる。	・連携した活動を実効性のあるものにできるよう、深く考えて、分析することができる。 ・判別協議などの場面で、求められていることを踏まえ、自分自身の意見を持つことができる。 ・判別協議等の中で、自身の意見を適切に述べることができるとともに、他者の意見をしっかりと聞き、判断できる。	・各施設や企業等との連携について、主体的に内容をとらえることができる。 ・連携した取り組みの実践に向け、主体的に情報の分析や整理を行い、自身の意見を積極的に伝えようとする態度を持てる。 ・判別協議や実践において、積極的に取り組もうとする態度を持てる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1		・各施設から状況説明と連携において求めるものの聞き取り ・連携内容の決定 ・連携の実践 ・振り返り	a:説明を理解している 連携のために必要な情報等を適切に集め、整理できる グループ協議において適切な発言ができる b:連携の成功に向け考えることができる。自身の考えを持てる。 他者の話を聞き、自身の意見を適切に表現できる c:主体的に取り組んでいる 積極的にグループの意見をまとめる方向に参加している	施設担当者等の説明をまとめたレポート 連携活動に向けた資料の準備状況の把握	連携活動の内容等について考えている 他者の意見を踏まえ、自身意見を発言できるなどの状況観察	話を聞く態度や、判別協議の発言や発表における積極生徒の観察
2		・企業のボランティア活動の取組みや趣旨等についての聞き取り ・活動内容の決定 ・活動実践 ・振り返り	a:説明を理解している 連携のために必要な情報等を適切に集め、整理できる グループ協議において適切な発言ができる b:連携の成功に向け考えることができる。自身の考えを持てる。 他者の話を聞き、自身の意見を適切に表現できる c:主体的に取り組んでいる 積極的にグループの意見をまとめる方向に参加している	施設担当者等の説明をまとめたレポート 連携活動に向けた資料の準備状況の把握	連携活動の内容等について考えている 他者の意見を踏まえ、自身意見を発言できるなどの状況観察	話を聞く態度や、判別協議の発言や発表における積極生徒の観察
3		・地域おこしの活動や連携内容についての聞き取り ・連携内容の決定 ・連携の実践 ・振り返り・	a:説明を理解している 連携のために必要な情報等を適切に集め、整理できる グループ協議において適切な発言ができる b:連携の成功に向け考えることができる。自身の考えを持てる。 他者の話を聞き、自身の意見を適切に表現できる c:主体的に取り組んでいる 積極的にグループの意見をまとめる方向に参加している	施設担当者等の説明をまとめたレポート 連携活動に向けた資料の準備状況の把握	連携活動の内容等について考えている 他者の意見を踏まえ、自身意見を発言できるなどの状況観察	話を聞く態度や、判別協議の発言や発表における積極生徒の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度